

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

計画の名称	明日香村における快適で活力ある暮らしの実現と下水道施設における事業継続性の確保。(第3期)													
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	明日香村													
計画の目標	上位計画である第5次明日香村整備計画に基づき未普及対策として生活環境の改善による快適で活力ある暮らしの実現、健全な発展と公衆衛生の向上に寄与するために、下水道の未普及地域の整備を進め今期で新規事業について完了を目指す。また、下水道ストックマネジメント計画の策定を行い、更新事業についての検討を行う。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		161	A	161	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和04	令和06	令和08
1	下水道処理人口普及率を98%から100%に向上を図る。 供用開始人口 / 行政区域内人口 = 下水道処理人口普及率(%)	98%	99%	100%
2	管路の改築更新を計画的に進め、改築達成率を0%から50%にする。 改築実施延長 / 改築計画延長 = 改築達成率(%)	0%	0%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	明日香村	直接	明日香村	管渠(汚水)	改築	明日香村全体(ストックマネジメント計画)	計画策定(管渠・ポンプ場)	明日香村						34		-	
	A07-002	下水道	一般	明日香村	直接	明日香村	管渠(汚水)	改築	明日香村全体(計画に基づく事業実施)	施設調査・点検・設計・工事(管渠・ポンプ場)	明日香村						84		-	
	A07-003	下水道	一般	明日香村	直接	明日香村	管渠(汚水)	新設	飛鳥川第1-1処理分区(未普及対策)	汚水管 200mm L=220m	明日香村						39		-	
	A07-004	下水道	一般	明日香村	直接	明日香村	管渠(汚水)	-	明日香村全体(効率的な事業実施に伴う計画策定)	事業計画策定	明日香村						4		-	
											小計						161			
											合計						161			

計画の名称	明日香村における快適で活力ある暮らしの実現と下水道施設における事業継続性の確保。(第3期)		
計画の期間	令和4年度 ~ 令和8年度 (5年間)	交付対象	明日香村

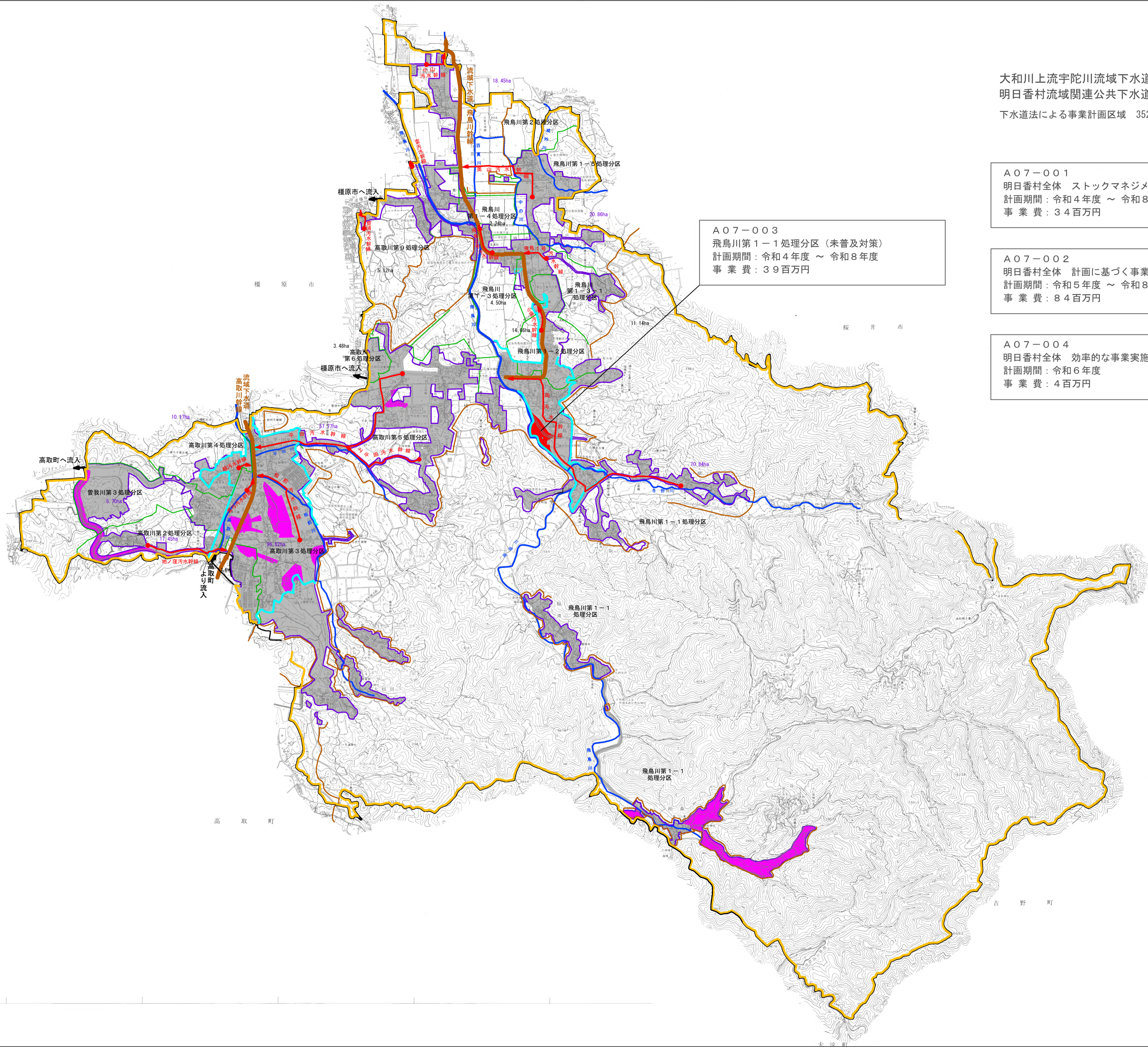
大和川上流宇陀川流域下水道事業
 明日香村流域関連公共下水道事業
 下水道法による事業計画区域 352.15ha

A07-001
 明日香村全体 ストックマネジメント計画
 計画期間：令和4年度 ~ 令和8年度
 事業費：34百万円

A07-002
 明日香村全体 計画に基づく事業実施
 計画期間：令和5年度 ~ 令和8年度
 事業費：84百万円

A07-004
 明日香村全体 効率的な事業実施に伴う計画策定
 計画期間：令和6年度
 事業費：4百万円

A07-003
 飛鳥川第1-1処理分区 (未普及対策)
 計画期間：令和4年度 ~ 令和8年度
 事業費：39百万円



凡 例	
	行政区域界
	処理区域界
	処理分区界
	認可区域界
	市街化区域界
	流域下水道幹線
	都市計画区域

事前評価チェックシート

計画の名称： 明日香村における快適で活力ある暮らしの実現と下水道施設における事業継続性の確保。(第3期)

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都道府県構想(見直し予定を含む)と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて事業計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 快適で活力ある暮らしの実現という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果を得られることが確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 快適で活力ある暮らしの実現に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 継続的な公衆衛生の向上と生活環境の改善が見込まれる。	○